

アイヌ語で「また会いましょう」と声をそろえ、記念撮影する市民サミット2008の参加者たち（加賀屋雄樹撮影）



途上国と連帯 市民サミット閉幕

国内外の非政府組織（NGO）が札幌で開催していた「市民サミット2008」は最終日の八日、NGO関係者三人が「世界は、きっと、変えられる」をテーマに三日間にわたる議論の総括スピーチを行い、閉幕した。

総括スピーチでは、途上国支援についてインドのビノード・ライナさんが「先進国の政府開発援助（ODA）の使われ方を市民が監視していく必要がある」と提言。これを受けて来年のサミットが開かれるイタリヤのNGO関係者は「食料危機やエネルギー問題の解決に向け、イタリヤ政府に働きかけた」と決意を示した。

最後に主催団体の一つ「G8サミットNGOフォーラム」の星野昌子代表が「政府と敵対する必要はないが、なかなかならず話し合いを続けよう」と呼び掛け、会議を締めくくった。

国内初のNGOによる「もうひとつのサミット」となった市民サミットは六日に開幕。約三十カ国の関係者約四百人が貧困、環境問題などを議論した。

タイを拠点とする「変革のための先住民ネットワーク」のミニ・デガワンさん（同）は「G8の欲求の結果、貧困、飢餓が広がっている。気候変動も（二酸化炭素排出量の少ない）われわれに原因はないのに、それに伴う災害の被害を受けている」と指摘。途上国の

「欲望の果て」

人々が大きな犠牲を払っている現状を報告した。

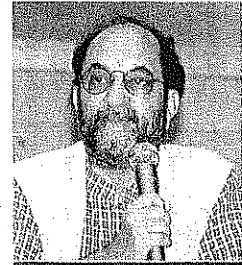
同ネットワークはタイを拠点に世界各地に九十の事務所を置き、国連などに先住民の権利確保のためのロビイ活動を行っている。

今回は「アイヌ民族の土地・北海道での開催だったため参加した。『アイヌ民族を先住民とすることを求める国合決議』を評価し

世界各地の非政府組織（NGO）が集まり、三日間の議論を通じて連携を強めた市民サミット2008。各NGOは今回の成果を持ち帰り、今後の活動に生かしていく。総括スピーチではNGO関係者三人が貧困、先住民の権利など、それぞれの立場から提言した。

ただ「政府、市民社会がこれまで強制してきた同化政策の傷を癒やすよう行動すべきだ」と提言した。

「世界は変えられる」発信



市民サミットで提言する（上から）ミニ・デガワンさん、ビノード・ライナさん、杉山さかえさん

着付けで日本を体感 外国人記者に文化紹介

【留寿都】洞爺湖サ 際メディアセンターミットの取材拠点・国（後志管内留寿都村）

内八日、ルスン日本文化交流会」が開かれた。

日本の伝統文化を外国人ジャーナリストに紹介する試みで、メデ

償いが必要

識字率向上を目指す「全インド民衆科学運動ネットワーク」のビノード・ライナさんは「先進諸国は植民地支配で奪った豊かな文化、財産を返還し、償うことが求められる」との認識を示した。

元教師で南アジアの貧困問題にも取り組む「政府開発援助（ODA）を増額すること」が貧困の解消につながる」と安易に考えないで

チャンスに

市民サミットを主催した「G8サミット市民フォーラム北海道」の杉山さかえ共同代表（左）は「さまざまな分野のNGOが一堂に会して議論し、政策提言をまとめることができたら、今後の活動の財産になる」と成果を強調した。

「本業」は市民による風力発電事業を手掛けるNPO法人「北海道グリーンファンド」理事長。「危機をつくったのも人間、変えることができるのも人間。危機をチャンスととらえ、貧困や格差のない社会をつくってほしい」とスピーチを締めくくった。

08/07/14 北海道新聞

G8への目厳しく

NGO専用作業室 メディアセンター

08/1/9 読者

北海道洞爺湖サミットの取材拠点として設置された留寿都村の国際メディアセンター(IMC)に、民間活動団体(NGO)専用の作業室や記者会見場が設けられた。過去のサミットで、NGOは取材記者とスペースを共用するケースが多かったためだ。外務省は「NGOの果たす役割は大きくなってきた」と、情報発信などに便宜をはかった」と説明しており、今回は53団体102人のNGO関係者が利用の登録をした。

しかし、各国の新聞、テ



NGO専用の作業室(8日、国際メディアセンターで)

「隔離みたい」不満も

GO関係者は「今回はテレビ局の取材が激減した」と嘆く。実際、8日午後行われたアフリカのあるNGO団体の記者会見は、G8首脳夫人のIMC視察で通路が一時閉鎖されたこともあり、出席した記者はわずか4、5人にとどまった。

貧困撲滅などをうたうNGO「GCAP」のクミ・ナイドゥー共同議長は「記者たちと別室になり、交流がしにくくなった。我々のメッセージを発信することが難しくなっている」と語った。

レビ、通信社などの取材陣が集まる棟からは、徒歩で作業室が3分、記者会見場に至っては10分もかかる。

こういった状況について、NGO側からは「まるで隔離されているようだ」との声が出ている。あるN